

新潟西部地域 「新之助」生育情報 No.3

令和7年6月19日
巻農業普及指導センター

◎中干しを継続し、無効分けつの発生を抑制！
◎中干しは田面に小ヒビが入る程度で終了！

【6月19日の生育データ（指標値比較）】

草丈「やや短」、茎数「少」、葉数「やや遅」、葉色「淡」

区分	調査地点	移植日	草丈(cm)		茎数(本/m ²)		主幹葉数(L)		葉色(SPAD)	
			本年値	指標比%	本年値	指標比%	本年値	指標差L	本年値	指標差
分施	岩室(普及)	5月16日	37	109	489	122	8.2	-0.4	42.2	1.2
全量基肥	巻	5月16日	30	88	376	94	8.0	-0.6	35.0	-6.0
	岩室	5月8日	37	109	349	87	8.1	-0.5	40.1	-0.9
	潟東	5月13日	25	74	318	80	8.5	-0.1	35.1	-5.9
	中之口	5月12日	36	106	314	79	8.0	-0.6	43.8	2.8
	黒埼	5月11日	28	82	173	43	7.6	-1.0	31.3	-9.7
	西川	5月18日	32	94	274	69	8.2	-0.4	38.6	-2.4
	にいがた西	5月11日	31	91	450	113	8.3	-0.3	36.9	-4.1
全体平均		5月13日	32	94	343	86	8.1	-0.5	37.9	-3.1
指標値		5月15日	34		400		8.6		41.0	
近年値		5月13日	33		409		8.3		38.4	

※調査地点：JA新潟かがやき「越後中央」新之助研究会、JA新潟かがやき「みらい」新之助栽培研究会、普及センター気象感応ほ調査データ

※近年値はH29～R6までの平均値

【今後の管理ポイント】

- 向こう1か月の気温は高い見込み。中干しは田面に小ヒビが入る程度で終える。
- 溝切りは、生育調節や地耐力確保のためだけでなく、フェーン時等の迅速なかん水にも効果があるため確実に行うとともに、溝が排水溝につながっていることを確認する。
- いもち病が発生しやすい時期であるため、葉いもちの発生に注意し、発病が認められたら、粉剤又は液剤で直ちに防除する。
- 補植苗はいもち病の伝染源になるため直ちに除去する。
- 斑点米対策のため、カメムシが生息する畦畔等の雑草管理と水田内の雑草防除（特にノビエ、ホタルイ）を確実にを行う。

(次回調査は6月30日)